

二〇二六年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 東洋史学専攻)

(科目名:第2群 ④古典漢文(東洋史学))

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

2026年2月23日(月)

設問 次の問にすべて答えなさい。なお、別紙の解答用紙には、必ず問題番号を記入しなさい。

問一 次の文について、(1)(2)に答えなさい。

乾隆戊戌歲瓜州浚河得南宋官印文曰宿州州院朱記初不解州院為何職後讀羅端良新安志乃知每州有州院與司理院皆刑獄之稱州院則錄事參軍主之司理院則司理參軍主之若州升爲府則稱府院會稽志錄事參軍解舍在府治之西南府院在焉司理參軍解舍在府治之南獄在焉

(清・錢大昕『十駕齋養新錄』卷十、州院)

- (1)書き下し文にしなさい。  
(2)内容の要点を適切に要約して述べなさい。

問二 次の文について、(1)(2)(3)に答えなさい。

海寇鄭廣陸梁青蒲間，驅賊兵屢雲合亡命無不一當百官軍莫能制自號濱海蛟有詔勿捕命以官使主權之延祥兵以徵南漢延祥隸帥闔廣旦望趨府羣僚以其故所爲儼贊次無與立譚者廣鬱鬱弗言一日晨人未衙羣僚偶語風簷或及詩句廣豐然起于坐曰鄭廣虜人欲有出詩曰之請官可乎衆屬耳乃長吟曰鄭廣有詩上來官文武看來總一般衆官傲官却做賊鄭廣做賊却做官滿坐慚嘆言以初好誦此詩每日今天下士大夫愧鄭廣者多矣吾儕可不知自警乎

(宋・岳珂『程史』卷四、鄭廣文武詩)

- (1)書き下し文にしなさい。  
(2)現代日本語に翻訳しなさい。  
(3)問題文の要点を適切に説明しなさい。